



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社オカムラ
コード番号 7994 URL <https://www.okamura.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中村 雅行
問合せ先責任者(役職名) 取締役 執行役員 コーポレート担当 (氏名) 福田 栄 (TEL) 045-319-3445
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	210,221	6.4	13,191	64.3	14,990	58.5	12,634	37.6
2023年3月期第3四半期	197,531	8.1	8,027	△14.5	9,460	△11.1	9,184	18.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 16,703百万円(82.9%) 2023年3月期第3四半期 9,132百万円(35.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	133.49	—
2023年3月期第3四半期	93.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	257,039	162,206	62.2
2023年3月期	252,914	152,702	59.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 159,922百万円 2023年3月期 150,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	22.00	—	33.00	55.00
2024年3月期	—	43.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	43.00	86.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,600	4.9	23,600	35.8	25,500	34.7	20,100	26.4	212.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	100,621,021株	2023年3月期	100,621,021株
2024年3月期3Q	5,975,261株	2023年3月期	5,972,073株
2024年3月期3Q	94,647,212株	2023年3月期3Q	97,735,266株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「豊かな発想と確かな品質で、人が活きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をミッションとし、「人が活きる社会の実現」を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和、外国人観光客の増加によるインバウンド需要の回復などにより、経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナ・中東情勢を巡る地政学的リスク、中国経済の先行き懸念、諸資材・部品の価格高騰、世界的な金融引き締めにもなう金利・為替変動などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、顧客のニーズを的確に捉えたクオリティの高い製品とサービスを社会に提供することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高210,221百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業利益13,191百万円（前年同四半期比64.3%増）、経常利益14,990百万円（前年同四半期比58.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12,634百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
オフィス環境事業	107,302	109,503	2,200	7,291	8,450	1,158
商環境事業	76,135	81,979	5,843	1,949	3,633	1,684
物流システム事業	9,734	13,772	4,037	△1,193	928	2,122
その他	4,359	4,966	607	△20	178	199
合計	197,531	210,221	12,689	8,027	13,191	5,164

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、新しい働き方に対応したオフィスの構築が、業種・規模を問わず多くの企業にとって重要な経営課題となっており、全国でオフィスのリニューアル需要が活発に推移いたしました。このような状況のもと、当社は、ハイブリッドワークとデジタル時代に対応した新しいワークスタイルの提案営業と、それを支える働き方の変化を捉えた新製品を拡充し需要の取り込みに努めました。一方で、諸資材・部品の価格高騰の影響を受ける中、生産・物流コスト削減に努めるとともに、価格転嫁の浸透に努めてまいりました。これにより売上高、利益ともに過去最高となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、109,503百万円（前年同四半期比2.1%増）、セグメント利益は、8,450百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

商環境事業

商環境事業につきましては、食品を取り扱う業態間の競争や、インバウンド需要回復への期待を背景に、店舗改装の需要が堅調に推移いたしました。このような状況のもと、店舗什器、冷凍冷蔵ショーケースをはじめとした幅広い製品ラインナップに加え、店舗デザインや施工管理等を含む店舗づくりのトータルサポート体制を拡充し、当社の総合力を活かした提案による需要の取り込みに努めました。一方で、諸資材・部品の価格高騰の影響を受ける中、生産・物流コスト削減に努めるとともに、価格転嫁の浸透に努めてまいりました。これにより売上高、利益ともに過去最高となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、81,979百万円（前年同四半期比7.7%増）、セグメント利益は、3,633百万円（前年同四半期比86.4%増）となりました。

物流システム事業

物流システム事業につきましては、省人・省力化ニーズを背景に、物流施設を中心に自動倉庫の需要は高水準で推移しております。一方で、世界的なサプライチェーンの混乱による諸資材・部品の調達難及び価格高騰が継続しております。このような状況のもと、優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な提案活動を展開し、受注高は堅調に増加しており、当第3四半期連結累計期間において複数の大型物件の売上を計上いたしました。また、生産・物流コストの削減や価格転嫁を進める等、収益の改善に努めてまいりました。これにより売上高は過去最高となり、営業利益は大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、13,772百万円（前年同四半期41.5%増）、セグメント利益は、928百万円（前年同四半期は1,193百万円のセグメント損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末から4,125百万円増加して257,039百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、商品及び製品の増加、売上債権及び契約資産の減少を主な要因として7,742百万円減少し、固定資産は、建物及び構築物、土地、投資有価証券の増加を主な要因として11,867百万円増加いたしました。

負債は、仕入債務、未払法人税等の減少を主な要因として、前連結会計年度末から5,378百万円減少して94,833百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加を主な要因として、前連結会計年度末から9,503百万円増加して162,206百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.6ポイント増加して62.2%となりました。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益18,716百万円、減価償却費4,786百万円及び売上債権及び契約資産の減少額11,965百万円等による増加と、法人税等の支払額8,374百万円、仕入債務の減少額5,066百万円及び投資有価証券売却益3,751百万円等による減少の結果、15,425百万円の資金増加（前年同四半期は8,105百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得11,336百万円及び無形固定資産の取得952百万円等による減少と、投資有価証券の売却及び償還4,839百万円による増加の結果、6,852百万円の支出（前年同四半期は2,455百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額6,758百万円等による減少の結果、5,766百万円の支出（前年同四半期は3,569百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から3,314百万円増加（前年同四半期は2,814百万円の増加）し、40,313百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月2日に公表いたしました業績予想数値を変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,534	41,015
受取手形、売掛金及び契約資産	73,571	61,606
有価証券	491	-
商品及び製品	9,974	11,571
仕掛品	5,298	5,413
原材料及び貯蔵品	5,892	6,560
その他	3,838	3,710
貸倒引当金	△157	△176
流動資産合計	137,443	129,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,713	23,382
土地	27,823	30,381
その他（純額）	23,812	20,303
有形固定資産合計	66,349	74,067
無形固定資産		
のれん	2,161	2,658
その他	3,052	3,211
無形固定資産合計	5,213	5,870
投資その他の資産		
投資有価証券	36,975	40,410
その他	6,958	7,023
貸倒引当金	△26	△33
投資その他の資産合計	43,907	47,401
固定資産合計	115,470	127,338
資産合計	252,914	257,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,906	21,857
電子記録債務	11,603	13,735
短期借入金	6,314	7,932
1年内返済予定の長期借入金	1,194	3
1年内償還予定の社債	-	5,000
未払法人税等	4,909	2,102
賞与引当金	4,246	3,011
その他	9,293	9,040
流動負債合計	66,470	62,682
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	3,650	4,670
退職給付に係る負債	15,169	16,102
その他	4,921	6,377
固定負債合計	33,741	32,150
負債合計	100,211	94,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,770	16,770
利益剰余金	112,162	117,589
自己株式	△7,711	△7,717
株主資本合計	139,891	145,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,135	12,526
為替換算調整勘定	563	1,936
退職給付に係る調整累計額	165	147
その他の包括利益累計額合計	10,864	14,610
非支配株主持分	1,946	2,283
純資産合計	152,702	162,206
負債純資産合計	252,914	257,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	197,531	210,221
売上原価	136,441	141,966
売上総利益	61,090	68,254
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	7,243	7,265
給料及び手当	19,247	19,623
賞与引当金繰入額	1,578	2,181
賃借料	6,735	6,438
その他	18,258	19,553
販売費及び一般管理費合計	53,063	55,062
営業利益	8,027	13,191
営業外収益		
受取利息	21	32
受取配当金	872	906
持分法による投資利益	436	363
為替差益	281	2
その他	444	774
営業外収益合計	2,055	2,078
営業外費用		
支払利息	123	107
固定資産除売却損	357	83
その他	140	88
営業外費用合計	622	279
経常利益	9,460	14,990
特別利益		
投資有価証券売却益	4,517	3,771
受取保険金	202	-
特別利益合計	4,720	3,771
特別損失		
減損損失	30	25
投資有価証券売却損	139	19
投資有価証券評価損	1	-
災害による損失	181	-
特別損失合計	352	44
税金等調整前四半期純利益	13,828	18,716
法人税、住民税及び事業税	3,838	5,414
法人税等調整額	657	504
法人税等合計	4,495	5,919
四半期純利益	9,332	12,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,184	12,634

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	9,332	12,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,286	2,303
為替換算調整勘定	892	1,425
退職給付に係る調整額	86	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	107	194
その他の包括利益合計	△200	3,906
四半期包括利益	9,132	16,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,795	16,380
非支配株主に係る四半期包括利益	336	323

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,828	18,716
減価償却費	4,623	4,786
減損損失	30	25
災害による損失	181	-
受取保険金	△202	-
固定資産除売却損益 (△は益)	354	80
持分法による投資損益 (△は益)	△436	△363
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	50	26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,112	△1,234
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,060	907
受取利息及び受取配当金	△893	△938
支払利息	123	107
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,378	△3,751
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	10,307	11,965
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,264	△2,381
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,259	△5,066
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△76	△637
その他	1,629	621
小計	15,569	22,861
利息及び配当金の受取額	935	1,051
利息の支払額	△123	△113
災害による損失の支払額	△657	-
保険金の受取額	202	-
法人税等の支払額	△7,821	△8,374
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,105	15,425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,145	△839
定期預金の払戻による収入	1,067	1,770
有形固定資産の取得による支出	△8,166	△11,336
有形固定資産の売却による収入	179	61
無形固定資産の取得による支出	△644	△952
投資有価証券の取得による支出	△1,056	△771
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,289	4,839
その他	20	375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,455	△6,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,471	1,559
長期借入れによる収入	300	1,020
長期借入金の返済による支出	△903	△1,191
社債の発行による収入	5,000	-
社債の償還による支出	△5,000	-
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△3,870	△6,758
非支配株主からの払込みによる収入	5	33
その他	△573	△427
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,569	△5,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	734	507
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,814	3,314
現金及び現金同等物の期首残高	39,186	36,999
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	61	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,062	40,313

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	物流 システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	107,302	76,135	9,734	193,172	4,359	197,531	—	197,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	107,302	76,135	9,734	193,172	4,359	197,531	—	197,531
セグメント利益 又は損失(△)	7,291	1,949	△1,193	8,047	△20	8,027	—	8,027

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パワートレーン事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス環境事業」「商環境事業」及び「物流システム事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては30百万円であり、

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	物流 システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	109,503	81,979	13,772	205,254	4,966	210,221	—	210,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	109,503	81,979	13,772	205,254	4,966	210,221	—	210,221
セグメント利益	8,450	3,633	928	13,012	178	13,191	—	13,191

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パワートレーン事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス環境事業」「商環境事業」及び「物流システム事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては25百万円であり、

(重要な後発事象)

該当事項はありません。